

県外派遣審判員報告書

作成日 2018年 4月 27日

大会名	南九州四県対抗バスケットボール選手権大会	会場	熊本農業高校、開新高校、第二高校
期間	2018年4月27日～28日	報告者	谷山広樹

スケジュール

期日	内容		場所
4月27日(土)	8:30～	審判会議	熊本農業高校
	15:00～	女子予選リーグ担当 大分(大分) 対 熊本国府(熊本)	熊本農業高校
4月28日(日)	12:00～	女子2位パート担当 小林(宮崎) 対 熊本商業(熊本)	熊本農業高校

レクチャー・審判会議の内容

インテグリティーについて
 タイムアウト後のリスタートについて
 試合前のサインは5分前までに
 2日目は3PO実施
 トラブルを起こさないようにTOとの連携と会ったの確認等対応について

実技	割り当て	大分 対 熊本国府	CC	相手	U1:竹下(宮崎・B級)
----	------	-----------	----	----	--------------

○ゲーム前(プレカンファレンス)
 各チームのキーとなるプレイヤーの確認、新ルールの確認
 ○ゲームの実際
 お互いに序盤から笛を入れることや基準を示すこと、キープレイヤーに対する協力などをPGCで打ち合わせしていたことができゲームを進めていくことができているように思いました。前半にエリア3のところのアウトオブバウンズで協力を求められたところがあり、大分高校のベンチからアピールがあった場面で助けることができたことや大分高校のコーチとコミュニケーションを取ってゲームを進められたことはよかったです。後半は熊本国府がメンバーを総入れ替えしてきたときも基準が変わることなく吹くことができた。しかし、私の逆サイドからのドライブに対してクロスコールをしていたりいつもと同じ反省の試合でした。
 ○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 林 剛太 氏(熊本県B級)
 キープレイヤーとなる選手に対して協力してみようというところはよかったです。寄りすぎていたりするところもあったが、ゲーム中に修正できたこともよかったです。その後の展開についてのゲーム前の打ち合わせや確認があればなおよかったように思う

実技	割り当て	小林 対 熊本商業	U1	相手	CC: 隈元(鹿児島・A級)
----	------	-----------	----	----	----------------

○ゲーム前(プレカンファレンス)
 資料を用いて新ルールの確認、3POのメカについての確認
 ○ゲームの実際
 お互いに練習試合をしたりすることもあり相手のことを知っているということでした。私自身は緊張してゲームに入ってしまうファーストコールでミスしてしまい硬いまま2Qに入ってしまう最初のコールと似たような場面を吹いてしまいベンチから過度のアピールに対してCCがテクニカルファールを吹いてからゲームから消えている時間が長かったように思いました。最後まで頑張るチームだということで、淡々とゲームから消えないで吹くことのできるようになっていかなければいけないと思いました。
 ○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 有働千夏氏(熊本県B級)
 3POのメカについてももう一度見直してみてください。Tではレベルが高いことが多く、ドライブに対して遠ざかることが多かった。Cはベーシックな位置から動かないことが多かった。T、Cの両方でポジションアジャストをしたりするようになるともっと見えてくるように思いました。

全体を通しての感想

今回、初めて鹿児島県から派遣で審判をすることとなりました。何度か県外に出て吹く機会もありましたが、慣れない部分も多く、今年鹿児島県でインターハイもあるということで二日目の3POでゲームを担当させていただく機会もいただきました。
 私自身まだまだ足りないところだらけではありますが、インターハイ、国体に向けてレベルアップしていけるように頑張ります。
 最後に、大会運営を担当していただいた熊本県バスケットボール協会の方々していただいた大会を通して交流ができた熊本県、宮崎県、大分県の審判委員の方々、そして今回の派遣にご配慮くださいました原田審判長をはじめ鹿児島県審判委員会の皆さんに感謝申し上げます。報告とさせていただきます。ありがとうございました。